

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションやまちなかで新規開業を促すイベントの実施等は、まちなかの交流人口の増加や賑わいの創出に寄与している。 ・まちなかイロドリ事業でこれまで活用した空き店舗38件ののうち、19件が開業に至っており、まちなかの空き店舗解消に寄与している。
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主体のイベントから民間主体のイベント開催への移行を進めていく。(魅力ある商店街づくり事業において、平成30年度からナイトマーケット等の事業を補助対象に追加。) ・大学が新設され、まちなかでの若者向け店舗の新規開業が進む中、まちなかの大学生と商店街が継続して関わる仕組みの構築を図っていく。 ・令和5年度は、JR和歌山駅から和歌山城までをイルミネーションで彩り、夜間の滞留時間を延伸させ、光でまちと人をつなげるにより、夜間消費ひいては市内消費拡大を目指す。